【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第４区分
【発行日】平成24年4月5日(2012.4.5)

【公表番号】特表2008-540847(P2008-540847A)
【公表日】平成20年11月20日(2008.11.20)
【年通号数】公開・登録公報2008-046
【出願番号】特願2008-511664(P2008-511664)
【国際特許分類】
Ｃ２３Ｇ　1/22　(2006.01)
Ｃ１１Ｄ　3/06　(2006.01)
Ｃ１１Ｄ　3/20　(2006.01)
Ｃ１１Ｄ　3/04　(2006.01)
Ｃ１１Ｄ　1/83　(2006.01)
Ｃ１１Ｄ　7/04　(2006.01)
Ｃ２３Ｇ　1/12　(2006.01)
Ｃ２５Ｆ　1/04　(2006.01)
Ｃ２２Ｃ　21/00　(2006.01)
Ｃ２３Ｆ　17/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ２３Ｇ　1/22
Ｃ１１Ｄ　3/06
Ｃ１１Ｄ　3/20
Ｃ１１Ｄ　3/04
Ｃ１１Ｄ　1/83
Ｃ１１Ｄ　7/04
Ｃ２３Ｇ　1/12
Ｃ２５Ｆ　1/04
Ｃ２２Ｃ　21/00　Ｍ
Ｃ２３Ｆ　17/00

【誤訳訂正書】
【提出日】平成24年2月16日(2012.2.16)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】請求項３
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【請求項３】
脱脂媒質が、トリポリリン酸ナトリウム５～４０％と、グルコン酸ナトリウム３～１０％と、ソーダ３０～７０％と、非イオン性及びアニオン性界面活性剤の混合物３～８％との混合物１．５～３重量％を少なくとも含有する、請求項１又は２に記載の方法。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０００８
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０００８】
本発明のコンディショニング方法の第２の実施形態によると、トリポリリン酸ナトリウム５～４０％と、グルコン酸ナトリウム３～１０％と、ソーダ３０～７０％と、非イオン

性及びアニオン性界面活性剤の混合物３～８％との混合物１．５～３重量％を、脱脂媒質が少なくとも含有する場合に、圧延油の除去に関する更なる改良を達成することができる。前記脱脂媒質は、コンディショニングしたアルミニウムワークピースの表面から圧延油及び他の汚染物質を高い有効性で除去する。好ましくは、脱脂媒質の温度を上昇させることによって、脱脂媒質の脱脂効果を向上することができる。

【誤訳訂正３】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００２０
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００２０】

本発明の本実施形態において、ワークピースは、冷間圧延ＡｌＭｇ０．５アルミニウム合金からなる。しかしながら、ＡｌＭｇ０．５アルミニウム合金によって達成される結果は、特許請求の範囲で述べた他のアルミ合金も代表することが分かっている。図１ａ）～１ｃ）は左側にワークピースの脱脂表面のＳＥＭ写真を示し、それによって、トリポリリン酸ナトリウム５～４０％と、グルコン酸ナトリウム３～１０％と、ソーダ３０～７０％と、非イオン性及びアニオン性界面活性剤の混合物３～８％との混合物１．５～３重量％を少なくとも含有する媒質によって、脱脂が実施されている。暗色領域は、巻き込まれた（rolled in）表面下の島状酸化物として識別される。これらの島状酸化物は通常、脱脂中に除去されない。しかしながら、島状酸化物は各表面範囲がグレーニングされるのを防止するので、電気化学グレーニング前の前処理が表面下（subsurface）の島状酸化物を除去する能力は、電気化学グレーニングの結果を改善するために非常に重要である。図１ａ）では右側に、本発明のコンディショニング方法の第１の実施形態により、濃度５０ｇ／Ｌの水酸化ナトリウムによる１０秒間、温度８０℃での処理後の、図１ａ）の左側写真のワークピース表面が示されている。